



## 縦割りをなくし多様性のある「丸ごと就労相談支援」

人口:164,373人  
(令和元年11月1日時点)

福祉制度ごとに窓口を個別に設置  
(生活保護、生活困窮者支援、  
障害者、母子家庭等)

**福祉的就労支援**

**ハローワーク**

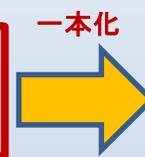
- ・職業紹介
- ・雇用保険
- ・雇用対策等

**福祉的就労支援**

**市独自**

- ・ウイメンズワークナビ
- ・建設ワークナビ
- ・高齢者ちよこ活

**ハローワーク**



**福祉的就労支援**

**多様な働き方確保  
支援センター**

ハローワーク端末を設置、  
専門相談員が相談対応

**ハローワーク**



**多様な働き方確保  
支援センター**

ハローワーク端末を設置、  
専門相談員が相談対応

**ハローワーク**

働き手の増大

**課題 ハローワーク**

- ・地元中小企業等の多様な情報が不足
- ・働くための生活支援情報等が不足

**課題 市独自施策**

- ・窓口が分かりにくい
- ・多様な関係機関とのネットワークが不足
- ・困難さを抱える人への支援のノウハウ不足

**課題 福祉的就労支援**

- ・各制度ごとの縦割り
- ・個別補助金メニュー

**課題 福祉的就労支援**

- ・各制度ごとの縦割り
- ・個別補助金メニュー

これまで働けなかった人を応援する  
仕組みの創設

・**縦割りの福祉的就労支援制度の見直し**  
(補助金メニュー・窓口の統合で包括的な相談窓口へ)

・**従来の労働施策の就労支援と自治体独自の**包括的**就労支援との一体化**

多様な働き方確保支援センター(宇部市 平成30年度設置)

【相談件数】H30年度:292件、R元年度9月末:252件

【マッチング件数】

H30年度:41人 (その内30歳・40歳代は25人)

R元年度9月末:26人 (その内30歳・40歳代は16人)

【運営経費】H30年度:4,087千円、R元年度(当初予算):4,899千円



キャリアコンサルタントによる相談

# 全世代型相談体制・共生型福祉の構築

## 共生型福祉

### 地域活動や社会活動への参画を支える仕組み

- ・ 支援スキルの研修
- ・ 就労や農福連携などへのモデル構築
- ・ 共生型福祉のまちづくり



専門相談機関、医療機関、就労支援機関、学習支援機関、福祉施設など

【H30年度実相談者数】  
48人(30歳代・40歳代は  
18人、アウトリーチ30人)

適正な支援機関

つながり

アンテナ高く

地域相談機関

体系化・施策化

高齢者

障害者

子ども

母子家庭

生活困窮者

ひきこもり

罪を犯した人

等

つながり

民生児童委員

福祉委員

学校

福祉施設

医療機関

推計600名

アンケート調査  
訪問調査  
聞き取り調査  
など

- ・ アンテナ機能をもち要援護者の潜在ニーズの掘り起こし
- ・ 課題解決に向けた関係機関との連携強化
- ・ 地域に応じた設置
- ・ 民間事業者との連携

全世代型相談体制

実態把握